

## まえがき

この追補は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正したもので、これによって、**JIS C 8366:2006** は改正され、一部が置き換えられた。

# ライティングダクト (追補 1)

## Lighting busways (Amendment 1)

JIS C 8366:2006 を、次のように改正する。

---

**序文**の“安全性要求事項は、用途に応じて JIS C 8472 (ライティングダクト—照明器具用ダクトの安全性要求事項) 及び／又は JIS C 8473 (ライティングダクト—電源用ダクトの安全性要求事項—第 1 部：通則) を全面的に引用している。”を、“安全性要求事項は、用途に応じて JIS C 8472 及び／又は JIS C 8473 を全面的に引用している。”に置き換える。

2. (引用規格) の JIS C 8473 ライティングダクト—電源用ダクトの安全性要求事項—第 1 部：通則を、次の規格に置き換える。

**JIS C 8473** ライティングダクト—電源用ダクトの安全性要求事項

9.3.8 (プラグ及びアダプタの着脱試験) を、次の文に置き換える。

**9.3.8 プラグ及びアダプタの着脱試験** プラグ及びアダプタの着脱試験は、JIS C 8306 の 10.によって行う。ただし、10.1 は(1)過負荷試験だけを行い、10.6 (過負荷試験) は表 3 (過負荷試験条件) の(a)の条件とする。

10.2 (受渡検査) の“b) 絶縁抵抗及び耐電圧 (5.1 であり、したがって JIS C 8472 及び／又は JIS C 8473 の 15.)”を、“b) 絶縁抵抗及び耐電圧 (5.1 であり、したがって JIS C 8472 及び／又は JIS C 8473 の箇条 15)”に置き換える。